

日本をキリストへ 協力

「日本をキリストへ」
伝道団体連絡協議会

〒101 東京都千代田区神田駿河台2-1
TEL 03-3296-1001

互いにそれぞれのもの

伝道団体連絡協議会役員

姫井雅夫

「私たちはからだの一部分として互いにそれぞれのものからです。」
エペソ四・二五

二月に例年の通り情報交換会がもたれました。各伝道団体が今年取り組もうとしていることについて情報を交換し合いました。それは互いの理解を深め、競合することなく、むしろ助け合っていくためです。それぞれが主のために一生懸命に奉仕しようとしておられることを知って、嬉しく思いました。でも、参加団体の顔ぶれを見るとだいたい決まってきたと言う感を免れませんでした。伝団協が主催するいろいろな催物についても同じことが言えるように思います。

伝団協に所属していると言うことは、お互いが一つの体を形成していると言うことでしょう。私たちはからだの一部分なのであって、それぞれが互いに必要なのです。

からだの一部分と言う理解

伝団協に所属したら何か益があるだろうと思って加盟された団体もあるかもしれません。役員会としてはその期待にも答えられるようにと祈り、工夫させていただいているつもり

です。あるアメリカの大統領はその就任演説の中で「国が何をしてくれるかではなく、国のために何ができるかを考えてほしい」と訴えておられました。キリストのからだである教会に属するクリスチャンも、また伝団協に属する伝道団体もこの考え方は大切だと思います。

それぞれのものと言う理解

夫と妻の関係、キリストと教会の関係、幹と枝の関係。伝団協と各伝道団体の関係はこれほどではないにしても、お互いを大切なものとして認め、交わり、助け合い、励まし合っていくたいと思います。4月に総会、6月にはフェスティバル、9月に研修会が予定されています。「それぞれのもの」と言う間柄が、これらの催物への参加によって証しされることを期待したいと思います。

キリストによって結び合わされているお互いと言う感覚をもっと深めることができたらと願うのですがご賛同いただけるでしょうか。主の祝福を祈っています。

日本伝道者協力会

〈事務局〉〒565 大阪府吹田市千里山東1-22-21
☎06-387-0101

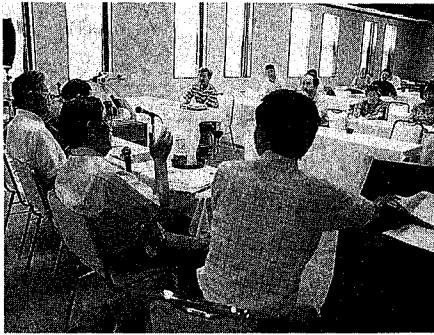
日本伝道者協力会はもともと、一九八三年に開かれたアムステルダム世界伝道者会議に日本から参加した先生方の提案をもとにスタートしました。その目的は、伝道者相互の霊交、訓練と養成、相互扶助、宣教がさらに進み、霊のリバイバルが広がることです。

伝道者の聖書の位置づけを見る時、教会は、牧師を支えるのと同じように伝道者をも支えていかなければなりません。それで数年前から、伝道の働きに重荷をもつ牧師先生方にも多数メンバーになっていた。現在に至っています。

左記の目的を果たしていくために、毎年退修会及びセミナーを開催しています。退修会においては、相互の交わり、親睦、研修をします。また、先生方を対象としたセミナーは毎年関東と関西で行われ、伝道説教の準備の仕方、決心の促し方、異端への対処法など、実際的な学びをしています。また年に四回、機関紙「フェローシップ」を発行しています。

三年ごとに事務局が関東と関西を入れ替わり、昨年九月から松見睦男会長のもと関西に事務局があります。現在正会員は約百名。

当面の祈りのテーマは、全日本リバイバル甲子園ミッションとビリー・グラハム東京国際大会のリバイバルの炎が全国に広がること、今年の関東・関西のセミナーの祝福、また機関紙「フェローシップ」がいっそう充実し伝道にますます役立つようになることです。



日本キリスト宣教会

〈本部〉〒669-42 兵庫県氷上郡春日町棚原2057
☎0795-75-0212
〈事務局〉☎06-312-10004

日本キリスト宣教会は、一九六九年十月、日本福音自由教会牧師であった松見睦男師が、TCC（現東京基督教大学）のホーク博士に、日本の伝道に立つように強く要請されたことに始まる。神戸中央教会とHiB・Aセンターの二ヶ所の集会において、森山論師、安藤伸市師、羽鳥明師、舟喜順一師、中島彰師、堀内頭師、斎藤源八師、中路嶋雄師の推薦を受けて、大衆伝道者として立ち上がった。

「京都をキリストへ」と京都全体の教会のリバイバルと救霊をかわきりに「救霊と教会建設」をモットーにクルセードが始まった。また集中方式伝道研修会と銘打って、一教会に三年間三回、三日間行き、教会を診断し、助言し、体質改善を計ってきた。多くの教会が成長し、会堂も十九年で六十建設され、二百名、三百名になる群れも多く起こされ、また小さい群れにも応援し、多くの実が起こされている。

教職のためにも毎年ユニークな研修会が開かれ、数多くの教職方が新しい主の取り扱いを与えられ、力づけられている。三年の研修会の後四年目にクルセードが周到な準備の中で行われ、一教会で、新しい魂が六百名も集まり、多くの決心者が起こされている。その働きはユニークであり堅実なバランスをとれた働きとして喜ばれている。



小さないのちを守る会

〈事務所〉〒101 東京都千代田区神田駿河台2-1 OCC内

☎ 03-3233-4988
0425-77-3796

FAX 0425-73-8089

現在、わが国で胎児の四人のうち三人が人工妊娠中絶によって虐殺され、中絶による犠牲者の数は年間五百万人あると言われています。

「小さないのちを守る会」は、主の大宣教命令「全世界に出て行き、すべての造られた者に、福音を宣べ伝えなさい」(マルコ一六・一五)に忠実に従い、「殺してはならない」(出エジプト二〇・一三)と言われる神の命令を守って次の活動をしています。

① 中絶防止——妊娠中の当事者にひとたび与えられた神のいのちに対して「産む使命」を果すように説得し、出産までの具体的な助けの全面提供。

② 養子縁組の斡旋——養育不可能な場合はクリスチャン・ホームに養子縁組の世話をし、神の証人としての信仰の継承。

③ 啓蒙教育——聖書に基づく神に祝福された「いのちと性」の教育。

④ 悔い改めと救いの提供——当事者に対して、みことばによる導きと福音による全き救いの提供。

△祈りの課題▽

① 日本全国の教会とクリスチャンの祈援者・入会者が多く起こされるように。

② 神のいのちが守られ、神に敵対するこの大きな社会問題との係わりの中で罪を悔い改めて具体的に救われる魂が多く起こされるように。



日本キリスト伝道会

〈本部〉〒132 東京都江戸川区平井4-9-5

(日本基督教団小松川教会内)

☎ 03-3683-0817

FAX 03-3683-0725

本会は、一九六三年に創立し今年で三十年を迎えました。長い間エバンジェリストを派遣して日本の各教会の伝道に奉仕をしてまいりました。

毎年一月の年頭協議会には、全国から数十名の地域世話人および実行委員が集まり、一年間の諸計画をたて、具体的な方策を立案し、実行しております。十年ほど前から一千万救霊のウィジョンを与えられ、その実現のための祈りを込めて「全国縦断伝道」を実施しております。

本年は、第三回縦断伝道であり、すでにブラジル日系教会連盟理事長弓場繁大司祭が三月から六月まで伝道されます。(ご希望の方は本部事務所へお問い合わせください)

なお、実行委員会では、「ブラジル日系教会宣教七十周年記念式典ツアー」

を予定しています。日程は、七月七日(水) 出発(リオデジャネイロ)サンパウロ(式典) イグアスの滝見学(七月十六日成田着となります)。(参加ご希望の方はお申し出ください)

恒例の「日本伝道の幻を語る会」は二十五回目を迎え、創立三十周年を記念して、特別講師として滝元明師を予定しています。八月十六日(月)〜十八日(水)、於・箱根アカデミーハウス。

なお、創立三十周年を記念して、記念誌も発行する予定です。

どうか本会のためにお祈りください。

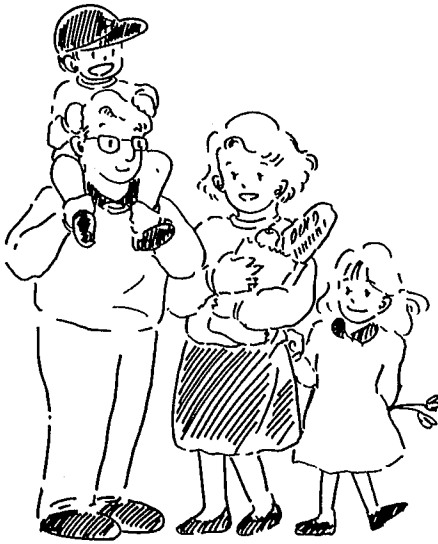


活動の報告とお知らせ

第7回フェスティバル 開催に向けて始動!

昨年は、岡山で伝道団体フェスティバルを開催し、地域の教会に喜ばれることができ感謝でした。今年は、また東京・OCCに戻ります。チラシ・ポスターも準備中です。ご期待くださり、ご参加ください。

テーマは、豊かな信仰生活のパートナー 93 伝道団体フェスティバル—あなたのクリスチャンライフを応援します—です。内容は、加盟各団体の展示、催物(コンサート、セミナー、講演会等魅力ある集会多数)、即売、喫茶コーナー、



カタログ配付他。

日時/6月11日(金)、12日(土)

場所/OCC 8F・9F・4F

□ 新年情報交換会開かれる

毎年恒例の新年情報交換会が、二月二日(火)午後一時〜四時OCC会議室において、二十二団体の出席で開かれました。

一部礼拝では、原登師がヨハネ一三・一〜五から『洗足の教え』と題して、「伝道団体は、教会に仕える者として用いられるよう務めよう」とみことばから語られました。

二部情報交換会では、二十二の諸団体から報告がありました。紙面の都合で一部を紹介します。クリスチャン新聞が二十五周年を迎え、日本キリスト伝道会が三十周年、新生運動の恵みの雨が四十周年、CS成長センターの成長が十五周年、と祝され主の恵みを見ました。また、新改訳聖書が間もなく千万冊に、新共同訳聖書が百万冊を突破したことが発表されました。

また国際ナビゲーターの小川氏、太平洋放送協会の羽鳥師、全国家庭文書伝道協会の古木氏、日本福音クルセードの本田師が各々健康の問題を抱えていることで祈りのリクエストがあり、全員で祈りの時をもちました。

二部終了後、OCCのご好意により恒例のおしるこを美味しくいただきました。

三部交わり会において、伝道団体フェスティバル、第九回総会、二泊研修会の発表アピールなどがありました。

第9回総会のご案内

議事/活動・会計報告、活動予定・予算案
審議、新役員を選出等

日時/4月20日(火) 午後2時〜5時

場所/OCC 4F

第9回伝道協研修会のお知らせ

日時/9月6日(月)〜8日(水)

場所/恵みシャレー軽井沢

講師/有賀喜一師

テーマ/「現代における聖霊の働き」

* 詳しい内容・費用等は後日お知らせします。

伝道団体連絡協議会役員名

顧問	島村亀鶴	森山 諭	岡村又男	羽鳥 明
会長	兼松 正	堀内 頭		
副会長	原 登	K・マクビーティ	村上宣道	
役員	鈴木留蔵	岸田 馨	姫井雅夫	久保英夫
	滝元 明			
常任役員	渡辺佐次郎	浅見鶴蔵	岩崎喜太男	
	岩本信一	柳沢 清	鈴木 繁	鈴木優子
監査	辻岡健象	杉本成児		

発行日 一九九三年四月五日
編集者 本田 弘 慈 繁